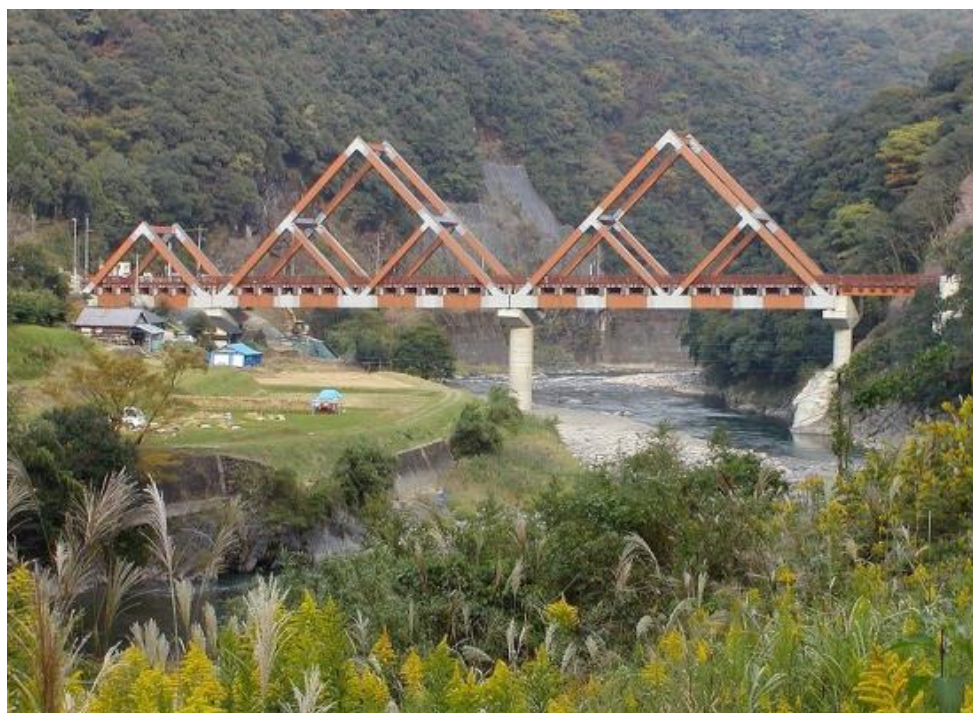


エコアクション21

環境経営レポート



第15版作成 2024年7月1日
対象期間 2023年5月～2024年4月

有限会社 佐伯建設

《 目 次 》

1. 事業概要	1
1) 事業者名及び代表者	1
2) 所在地	1
3) 環境管理責任者	1
4) 連絡先	1
5) 対象範囲	1
6) 事業規模	1
7) 推進組織図	1
 2. 環境経営方針	2
3. 環境経営目標.....	3
4. 環境経営目標の実績.....	4
5. 環境経営計画と取組みの結果・評価.....	5
6. 次年度の環境経営目標と環境経営計画	6
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟の有無	7
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	7

1. 事業概要

1) 事業者名及び代表者名

有限会社 佐伯建設
代表取締役 佐伯 万樹

2) 所在地

〒881-1414 宮崎県児湯郡西米良村大字竹原406

3) 環境管理責任者

EA-21責任者 : 佐伯 万樹

4) 連絡先

連絡担当者 : 佐伯 万樹
TEL : 0983-36-1131
FAX : 0983-36-1163
E-mail : saikik@nishimera.net

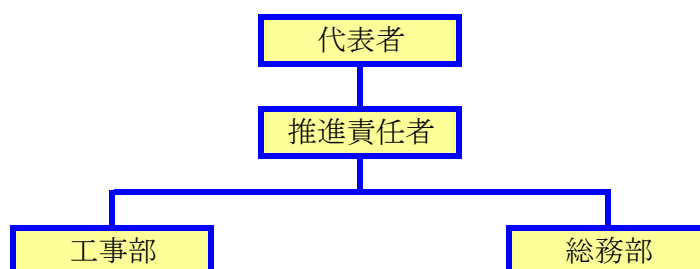
5) 対象範囲

- ・対象組織…………… 全社(関連事業者なし)
- ・対象活動…………… 全活動(建設業)
(土木工事業 ・舗装工事業 ・塗装工事業 ・石工事業 ・とび土工工事業
・鋼構造物工事業 ・しゅんせつ工事業 ・水道施設工事業・解体工事業)
- ・認証登録範囲…………… 全社(関連事業所なし)
- ・レポートの対象期間 2023年 5月～2024年 4月
- ・レポートの発行日 2024年 7月 1日

6) 事業規模

項目	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
従業員数	11	11	10	10	10
工事等の件数	25	24	23	25	23
事業所床面積(m ²)	200	200	200	200	200
倉庫床面積(m ²)	300	300	300	300	300
資機材置場面積(m ²)	100	100	100	100	100
総敷地面積(m ²)	800	800	800	800	800

7) 推進組織図



2.環境経営方針

環境経営理念

我々は、恵まれた自然環境の中で日々の生活を営んでいる。
だからこそ『自然の大切さ』がわかる。
後世に、この豊かな緑を残すため、エコに対して強い意識をもち、
地球環境の保全と地域社会への貢献を目的として、全社員一丸
となって取り組む



環境経営方針

有限会社佐伯建設は、建設工事が与える環境負荷を把握し、省エネ・省資源
及びリサイクルの推進に取り組み、低炭素社会、資源循環型社会形成に尽力
する為、環境経営システムを構築して継続的な改善に努める。

1. 我々は過去の建設事業が与えた環境負荷を把握した結果、以下の事項を
重点分野として、優先的に取り組む。
 - ①電気使用量・化石燃料使用量の節減による、二酸化炭素排出量の削減
 - ②建設現場や事業所から排出される廃棄物の削減・再資源化の推進
 - ③節水活動による水使用量の抑制
2. 関連する環境法規制を遵守すると共に、行政機関・団体・地域等の要請に協力する。
3. ICT活用や創意工夫により、安全且つ効率的な施工、環境に配慮した施工に努める。
4. 環境保全のためのボランティアへの積極参画や、地域での社会貢献活動に努める。

環境経営方針は、全従業員へ周知徹底を図り、環境管理の推進に努めると共に一般に開示する。

改定：令和 3年4月 1日

改定：平成31年4月 1日

改定：平成25年4月 1日

制定：平成21年4月21日

有限会社 佐伯建設
代表取締役 佐伯 万樹

3.環境経営目標

取組み項目 (目標項目)(単位)	実施区	(基準値) 2012年度+2013 年度の平均	年度別環境経営目標		
			2023年度 2023年5月～ 2024年4月	2024年度 2024年5月～ 2025年4月	2025年度 2025年5月～ 2026年4月
1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO2)		118,246	115,172	114,936	114,699
①電気使用量の削減 (kWh)	事務所	6,649	基準比2.6%削減 6,476	基準比2.8%削減 6,463	基準比3.0%削減 6,450
②ガソリン使用量の削減 (L)	現場	12,088	基準比2.6%削減 11,774	基準比2.8%削減 11,750	基準比3.0%削減 11,725
③軽油使用量の削減 (L)	現場	33,738	基準比2.6%削減 32,861	基準比2.8%削減 32,793	基準比3.0%削減 32,726
2 廃棄物削減					
①.一般廃棄物の削減 (kg)	全社	141.1	基準比2.6%削減 137.4	基準比2.8%削減 137.1	基準比3.0%削減 136.9
②建設副産物の 再資源化率向上(%)	現場	再資源化率 95%以上	再資源化率 95%以上		
3. 水資源使用量の削減 (m3)	事務所	217.5	基準比2.6%削減 211.8	基準比2.8%削減 211.4	基準比3.0%削減 211.0
4. 環境保全活動の展開 (環境ボランティア活動)	全社	3回以上/年	3回以上/年		
5. 自らが施工する土木建築物 の環境性能の向上及び サービスの改善	全社		該当する環境経営計画の順守		

*購入電力の二酸化炭素排出係数は九州電力の調整後排出係数0.475kg-CO2/kWhを使用しています。

*再資源化率＝再資源化量÷総排出量

【改訂履歴】

*グリーン購入の推進は管理目標から除外しました。・・・2019.5.1

電気	0.475
ガソリン	2.32
軽油	2.58
灯油	2.49

4.環境経営目標の実績

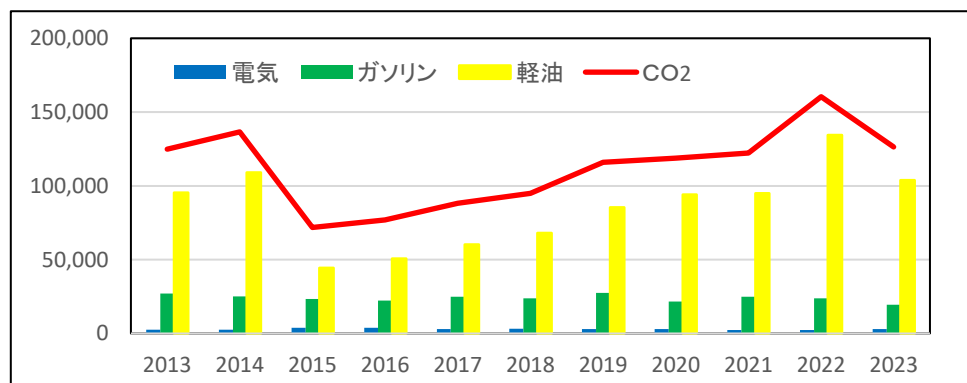
* 2023年5月から2024年4月までの1年間の実績は以下の通りです。

取組み項目		実施区	目標値	実績	達成率	評価
1. 二酸化炭素排出量(kg-CO2)		全社	115,172	126,362	91.1%	○
エネルギー	①電力使用量の削減 (kWh)	事務所	6,476	6,205	104.4%	○
	②ガソリン使用量の削減 (L)	現場	11,774	8,414	139.9%	○
	③軽油使用量の削減 (L)	現場	32,861	40,269	81.6%	-
2 廃棄物の削減	①一般廃棄物の削減 (kg)	全社	137.4	129.1	106.4%	○
	②建設副産物の再資源化率向上(%)	現場	95%以上	100.0% (625.3t)	105.3%	○
3. 水資源使用量の削減 (m3)		全社	211.8	130.0	163%	○
4. 環境保全活動の展開 (環境ボランティア活動)		全社	3回/年	7回/年	233.3%	○
5. 自らが施工する土木建築物の 環境性能の向上及びサービスの改善		全社	活動計画の 順守	順守	—	○

* 購入電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力調整後排出係数0.475kgCO2/kWhとしています。

過去11年間の二酸化炭素排出量の推移は以下のようになりました。

エネルギー	年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
電気	(kg-CO2)	2,549	2,559	3,886	3,901	2,998	3,161	3,023	3,017	2,365	2,258	2,947
ガソリン	(kg-CO2)	27,108	25,014	23,458	22,266	24,855	23,796	27,538	21,618	24,905	23,771	19,521
軽油	(kg-CO2)	95,287	109,047	44,480	50,694	60,275	68,068	85,478	94,098	95,032	134,386	103,894
(kg-CO2)合計		124,944	136,629	71,824	76,861	88,128	95,025	116,039	118,732	122,302	160,414	126,362



軽油の消費量がCO2排出量に大きく影響しています、受注工事の内容により、軽油消費量左右されるため、いかに軽油の消費量を減らすかがこれからの課題です。昨年よりも、受注工事が重機、ダンプ使用が主な掘削工事の減少により、軽油使用量がかなり少なくなったので、昨年同様予想数量より、抑える事が出来ているのは、評価すべき事と思います。

5.環境経営計画と取組みの結果・評価

項目	活動内容	取組み結果	評価
・電気使用量の削減	①不在箇所、昼休みなどの電気消灯	不在箇所や昼休みの消灯や、エアコン使用時、区間ドアの開放などによる空調の不効率を減少させ、エアコンとサーキュレーターとの併用やブラインドの利用等で目標を達成した。	○
	②空調温度管理(設定温度遵守)		○
	③定期的に照明器具を清掃		○
	④パソコン、コピー機等のOA機器を省電力設定		○
	⑤エアコンフィルターを定期的に清掃		○
	⑥ブラインド利用により、熱の出入りを調整する		○
	⑦ノー残業デーの実施		○
	⑧昼間机のない場所は消灯している		○
・化石燃料使用量の削減 1.ガソリン 2.軽油	①エコドライブ(アイドリングストップ、急発進・急加速及び空ぶかしの防止等)を徹底する	エコドライブ、相乗りの工夫、アクセル7割運動の推進や、ハイブリッド重機の使用などで消費量の節減を図り。機械を使用しない時はこまめにエンジンをストップさせるなどの工夫を考えた。	○
	②車輛運行時はできるだけ早めのアクセルオフにする。		○
	③建設機械等は過剰な負荷を掛けない(アクセル7割運動等)		○
	④段取良い前準備で忘れ物などをなくし、折り返し運行の撲滅や現場への相乗りを推進		○
	⑤ハイブリッドカーや軽自動車の低燃費車への買替		○
	⑥ディーゼルエンジンの排ガスグリーン化をすすめる尿素を利用したダンプの導入		-
	⑦効率的なルートで配送		○
	⑧コンプレッサーや発電機など、使用しない時はこまめにエンジンをストップさせている。		○
	⑨不要な積載物は積んだまま運転しないようにしている。		○
・一般廃棄物の削減	①コピー用紙などの節減(ペーパーレス化・裏紙使用など)	パソコン画面で確認、用紙の裏面使用や両面コピー等で紙くずを削減している。コピー機の使用済トナーは、持ち帰りを依頼した。次年度も徹底した分別で最終処分量の削減に努力する。	○
	②廃棄物の分別を徹底して最終処分量を減らす		○
	③詰替可能な製品使用促進や使い捨て製品使用抑制		○
	④資源物を再生利用できるように分別している		○
	⑤コピートナーカートリッジや用紙梱包箱などは、納入業者に持ち帰ってもらってる		○
・建設副産物の再生率向上	①残余資材の抑制	資材購入の際には、余剰資材が出ないよう、こまめな発注を心掛けている。次年度も残余資材発生防止に取り組む。資材包装物は業者へ持ち帰り依頼する	○
	②残余資材発生したら、分別して再利用		○
	③混合廃棄物はできるだけ分別リユース、リサイクルする		○
	④資材包装物は業者へ持ち帰りを依頼。簡易包装のものを優先購入		○
・水資源使用量の削減	①定期的な漏水点検	定期的な漏水点検などで、節水の意識が、以前より定着した。次年度も引き続き漏水点検を実施していく。	○
	②「節水」シール剥がれていないか確認		○
・環境保全の取組推進	①現場付近、事務所周辺の清掃活動、整理整頓	近隣国道の清掃を毎日、積極的に行い、事務所周辺の清掃活動及び現場周辺の溝掃も、定期的にかまめに実行した。次年度も積極的に地域貢献に尽力していく。ボランティア活動も、前年度同様、積極的に参加した。	○
	②環境ボランティア活動参加		○
	③騒音、振動、粉塵等に関する苦情が無いように心掛ける		○
・自らが施工する土木建築物の環境性能の向上及びサービスの改善	①環境配慮型重機の使用	ICT施工により、工期短縮になり、燃料の削減になったと思う。次年度も新工法の講習等を受講し、環境配慮型工事の推進を意欲的にする。	○
	②仕様書同等の再生資材を調査しできるだけ再生資材を使用する。		○
	③材料の仕入れの余剰無の計画的発注		○
	④しっかりした工程管理で常に工期短縮		○
	⑤環境配慮型重機購入		○
	⑥建設機械などには、植物性オイルを使用する。		○

6.次年度の環境経営目標と環境経営計画

項目	目標	活動内容	担当
二酸化炭素削減	114,936 kg-CO2	・省エネ活動の推進	環境管理責任者
・電気使用量の削減	6,463 kWh	①不在箇所、不要箇所及び昼休み時は消灯する。 ②空調の適温化【冷房(7月～9月)28℃程度、暖房(11月～3月)22℃程度】を徹底する。 ③定期的に(2ヶ月に1回)照明器具を清掃する。 ④パソコン、コピー機等のOA機器は省電力設定に設定する。 ⑤エアコンフィルターを定期的に清掃する。 ⑥ブラインド利用により、熱の出入りを調整。 ⑦ノー残業デーの実施 ⑧昼間机のない場所は消灯している。 ⑨スポットライトなどで効率よく照明している	総務部
・化石燃料使用量の削減 1.ガソリン 2.軽油	ガソリン 11,750 L 軽油 32,793 L	①エコドライブ(アイドリングストップ、急発進・急加速及び空ぶかしの防止等)を徹底する。 ②車輛運行時はできるだけ早めのアクセル オフにする。 ③建設機械等の作業は、過剰な負荷を掛けないように操作する。(アクセル7割運動等) ④段取良い前準備で忘れ物などをなくし、折り返し運行の撲滅や現場への相乗りを推進。 ⑤ハイブリットカーや軽自動車の低燃費車への買換えを推進。 ⑥ディーゼルエンジンの排ガスクリーン化をすすめる尿素を利用したダンプの導入 ⑦効率的なルートで配送 ⑧コンプレッサーや発電機など、使用しない時はこまめにエンジンをストップさせている。 ⑨不要な積載物は積んだまま運転しないようにしている。	総務部 工務部
・一般廃棄物の削減	137.1kg	①コピー用紙などの節減。(両面コピー、縮小コピー・ペーパレス化・裏紙使用など) ②廃棄物の分別を徹底して最終処分量を減らす。 ③詰替可能な製品使用推進や使い捨て製品使用の抑制をするようにしている。 ④資源物を再生利用できるように分別している ⑤コビートナーカートリッジや用紙梱包箱などは、納入業者に持ち帰ってもらう。 ⑥再使用又はリサイクルしやすい製品を優先的に購入するようにする	総務部
・建設副産物の再生率向上	95%以上	①建設資材発注時は使用数量を再チェックし、残余資材の発生を抑制する。 ②建設残余資材が発生したら、分別して再利用を行う。 ③現場で発生する混合廃棄物は、できるだけ分別してリユース、リサイクルする。 ④資材包装物は業者へ持ち帰りを依頼。簡易包装のものを優先購入。	工務部
・水資源使用量の削減	211.4m ³	①水道配管からの漏水を定期的に点検する。 ②蛇口付近「節水」を意識させるシール等が剥がれてないか確認する。	総務部
・環境保全の取組推進	3回以上/年	①現場付近、事務所周辺を常に清掃活動に整理整頓に努める。 ②植林等の環境ボランティアに積極的に参画する。 ③騒音、振動、粉塵等に関する苦情が無いように心掛ける ④地域や業界、団体等の環境ボランティア情報を把握している	全社
・自らが施工する土木建築物の環境性能の向上及びサービスの改善	該当する環境経営計画の順守	①工事現場では環境配慮型重機(騒音規制・低排出)を使用する。 ②環境配慮型工法の提案。(仕様書同等の再生資材を調査しできるだけ再生資材を使用) ③材料の仕入れは余剰が出ないように計画的な発注をする。 ④しっかりした工程管理で常に工期短縮に取り組む。 ⑤環境配慮型重機の買い替え ⑥建設機械などには、植物性オイルを使用している。	工務部

7.環境関連法規等の遵守状況及び評価結果 並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業に係る環境関連法規は、担当者が定期的に日建連のURLで確認しています。

尚、関連法規制の遵守状況確認を定期的実施した結果、違反はありませんでした。

また、関係当局からの指摘や地域住民からの訴訟などありませんでした。

尚、現場での遵守状況は、安全パトロール中や安全会議時などで確認しています

※当社の事業に係る主な環境関連法規と遵守状況は以下の通りです。

法規名	遵守事項	遵守評価
廃棄物処理法	委託契約の締結、マニフェストの交付	遵守
	回収・照合確認(発行後B2,D票90日E票180日以内) A表の5年間保管	遵守
	産業廃棄物管理票交付等状況報告(6月30日までに知事へ報告)	遵守
	保管場所の掲示板設置	遵守
建設リサイクル法	発注者への書面による計画等説明、完了報告	遵守
	工事着手する日の7日前までに必要事項を都道府県知事に届け出	遵守
	分別解体、再資源化促進、再資源使用	遵守
フロン排出抑制法	・定格出力7.5kW未満の業務用エアコン等の簡易点検実施 (重機搭載のエアコンを含む)	遵守
再生資源利用省令	・再資源利用計画書・実施書の作成 ・再資源利用促進計画書・実施書の作成	遵守
騒音規制法	・知事へ7日前までに届け出 ・作業敷地境界にて85デシベル以下	該当工事なし
振動規制法	・知事へ7日前までに届け出 ・作業敷地境界にて75デシベル以下	該当工事なし
浄化槽法	・年1回の清掃と年3回の保守点検の実施 ・年1回の法定点検の実施	遵守
河川をきれいに する条例	事業排水を河川に排出しようとするときは、法令に定められた基準よりも 河川の汚濁の低減に資する設備によって処理したうえで排出するよう に努める	遵守

8.代表者による全体評価と見直しの結果

・毎年、環境型重機を購入し、エコの目標に取り組んでいます。購入した重機を大事に扱うことも又、安全やエコに繋がると考え、重機の維持管理の一環として汚れたらすぐに洗車を心がけ、短時間で設水を意識しながら高圧洗浄機で洗車した結果、設水になり油漏れ等確認にもなりました。

・今年度の受注工事の仕事内容により、昨年より軽油の消費が減少しました。受注工事の内容により軽油消費量が左右される為、常に、いかに軽油の消費量を減らすかが大きな課題です。

・エコアクション21環境活動に取り組み始めて14年目となり、年々、従業員一同、意識向上に伴い、エコを実践しています。

・電力、化石燃料の削減運動を展開し、今後も更なる環境負荷の削減目標に向かって全社員で取り組み地球温暖化防止や地域の環境ボランティア活動など、地域貢献に尽力していく所存です。

・昨年に引き続き働き方改革として、ノー残業を実現し、電気量の減少に繋がってください。

・現場及び事務所をパトロールして、気付いた点や改善策など、小さな事でも、新たなエコに関する意見を積極的に提案し、従業員一丸となって、継続的に改善活動に取り組んで欲しいです。

2024年5月

代表取締役 佐伯 万樹